

外部評価の平成26年度予算への反映状況

番号	事業名 (担当課)	外部評価結果	平成26年度 予算措置の概要等	今後の考え方	当初予算額(単位:千円)		
					平成26年度	平成25年度	増減
					一般財源	一般財源	一般財源
1	小杉駅前再開発事業 (政策推進課)	再開発事業の整備内容について、その必要性を含め、再度検討されたい。 また、再開発用地内の市借地部分については、整備内容が確定するまでの暫定的な利用策として、「駅前すぎっ子広場」として使用されているが、市民がより積極的に参加、利用できる場となる利活用方策を検討されたい。	再開発事業の整備内容を再検討するため、小杉駅前再開発事業調査費を計上する。	再開発事業の調査結果を踏まえ、利活用方法について検討していく。	2,145	1,766	+ 379
評価シート 001					2,145	1,766	+ 379
2	交流推進費 (政策推進課)	時代の変化や利用者のニーズに応じた外国人への支援の在り方を再度検討されたい。また、多文化こどもサポートセンターについては、地域住民や学生等から幅広い協力が得られるよう配慮するとともに、多文化共生の視点に基づき、異文化理解に関する活動を積極的に取り入れられたい。 なお、国際交流員については、活動の重要性は認められるので、さらなる活動内容の充実に努められたい。	転入してきた外国人住民が日本での生活に早く馴染めるよう、外国人向け行政ガイド(改訂版)の作成費用を計上する。	多文化こどもサポートセンターについては、地域でチラシを回覧するなど活動の周知を図るとともに、地域振興会に対し、多文化共生マネージャーを通じて、異文化理解に関する活動を取り入れていくよう働きかけていく。 また、国際交流員については、ホームページの内容の充実を図るなど活動内容の充実を図っていく。	6,100	6,354	254
評価シート 002					6,100	6,354	254
3	広報広聴費 (まちづくり課)	市報やケーブルテレビによる行政情報番組の内容について、市民から評価を求め、その効果を検証し、今後の事業に反映されたい。 また、これらの市の広報の企画・制作の過程において、市民が参加する手法を検討されたい。	従前のとおりとする。 【特殊事情あり】 市勢要覧作成費 H25 0千円 H26 4,900千円	隔年で実施する広報アンケートから得られた意見・感想などを市報等の作成に生かしていく。 また、市民から公募した広報サポーターに、市の広報の企画・制作の過程に参加してもらおうこととする。	括弧書きは市勢要覧作成費を除いた額		
評価シート 004					39,060 (34,160)	33,604 (33,604)	+ 5,456 (+ 556)
4	公募提案型市民協働事業 補助金 (まちづくり課)	NPO法人やボランティア団体等から幅広く提案を受けるため、事業内容の見直しやPRの方法を工夫するなど、提案しやすい環境を構築されたい。 また、実施された事業について、協働の推進に資したもとなったのかなど、事業効果の検証をされたい。	従前のとおりとする。 なお、年度当初から事業着手できるように、平成26年度の募集分より提案の募集時期や審査時期を変更した。	協働のまちづくり推進会議において、今までに採択された事業の実績や事業効果を検証し、その結果を公表する。	2,000	2,000	± 0
評価シート 007					2,000	2,000	± 0

番号	事業名 (担当課)	外部評価結果	平成26年度 予算措置の概要等	今後の考え方	当初予算額(単位:千円)		
					平成26年度	平成25年度	増減
					一般財源	一般財源	一般財源
5	社会福祉協議会総合相談 事業補助金 (社会福祉課)	心配ごと相談については、平素から地域住民が民生委員・児童委員と交流し、 <u>相談できる機会を増やす方策を検討されたい。</u> 無料法律相談については、補助金の妥当性に疑問があることから、弁護士会等が実施する相談会の周知・取次ぎで代替とすることや、 <u>市が実施する無料法律相談との一本化を検討されたい。</u>	無料法律相談については、市が実施している無料法律相談に一本化する。	地域住民が民生委員・児童委員をより身近な存在に感じてもらえるよう、民生委員・児童委員の活動を広報等で積極的にPRしていく。	421	1,052	631
評価シート 013					421	1,052	631
6	節目祝 (長寿介護課)	敬老の意を表すことが本事業の本旨であり、祝意をしっかりと伝えることが大事であるため、射水市としての祝意の表し方を検討されたい。 なお、祝品の贈呈については、時代の変化を考慮し、 <u>廃止を含めた見直しを検討されたい。</u>	祝品について、置時計を廃止する。	敬老の意を表し、長寿を祝う事業として、国・県の祝状の伝達を兼ねているため、当面継続していくが、その実施方法については、本事業の趣旨や時代の変化を考慮し、今後さらに見直していく。	1,150	1,450	300
評価シート 021					1,150	1,450	300
7	ブランド化推進事業費 (商工観光課)	ブランド化の推進には地域住民の発信力を高めることが必要であることから、 <u>その方策を講じられたい。</u> また、有効的かつ機動的に事業展開を図るとともに、 <u>効果の検証と成果の具現化を行い、更なるブランド化の推進及び射水市の知名度の向上に努められたい。</u>	従前のとおりとする。 ただし、射水市観光・ブランド推進会議において、「射水市観光・ブランド戦略プラン」のローリングを行い、成果・効果を検証する。	商品開発等支援補助金を積極的に活用してもらえるようPRを強化するなど、地域住民等の発信力を高めることができるような方策を検討していく。 また、本市の優れた特産品や地域資源が「射水ブランド」として認知されるよう全国へ向けてイメージキャラクターや様々な媒体を活用した魅力発信及び地域イメージ向上に取り組んでいく。	1,620	2,131	511
評価シート 029					1,620	1,573	+ 47
8	14歳の挑戦事業 (学校教育課)	生徒の職業観・勤労観の育成は必要であり、本事業を学校教育の中で明確に位置付けることが重要である。 そのため、 <u>事前・事後学習を充実させるなどの独自の工夫を行うことを検討し、「射水らしさ」を創出されたい。</u>	従前のとおりとする。	事前・事後活動等がより充実したものとなるよう、受け入れ事業所から意見聴取する機会を設け、意見を活動に反映させる。	2,808	2,905	97
評価シート 043					1,405	1,453	48
合 計					括弧書きは特殊事情を除いた額		
					55,304 (50,404)	51,262 (51,262)	+ 4,042 (858)
					52,951 (48,051)	47,852 (47,852)	+ 5,099 (+ 199)